

会 社 名 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 田 島 秀 二
(コード番号：7707 東証マザーズ)
問合せ先 総 務 部 長 田 中 英 樹
(TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

2020年2月事業説明

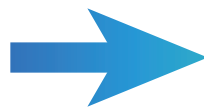
Precision System Science Co.,Ltd.

2020.2.27



開発ベンチャー

↳ 要素技術と製品モデルの完成



2020年
本格実業へ

1. 事業構造改革開始

2. 試薬製造(開発)企業との提携

3. 低コスト生産ラインの拡充

1.事業構造改革開始

	OEM	自社ブランド	個別仕様特注	契約/受託開発	試薬	収入	支出
販 売	EZ-1 ELiTe InGenius Pathfast Automate-EX PrepStation5s	magLEAD 6gC magLEAD 12gC magLEAD 5bL geneLEAD VIII	小児先天性免疫不全 スクリーニング PreLEAD96		magDEA Dx SV/MV ウィルスRNA	売上	製品原価 販管
開 発 改 良 情報収集		geneLEAD 24 magLEAD 24 Pathfast 24 MAST 24 長鎖DNA24	極微量ウィルス抽出 PreLEAD 6bL 改良 糖鎖マーカー検出 LuBEA VIII 改良		FFPEサンプル リオフィライズ試薬	契約金 助成金	プロジェクト
新規分野 学 術 技術対応	・ 学術事業化テーマの確立 ・ アルツハイマー特許実施権取得 ・ 免疫細胞自動分離システム ・ SAB会議 ・ コンサルタント 等					助成金	R&D
事業運営 調 達 製 造	生産設備投資 ・ DNA抽出カートリッジ量産設備 ・ 在庫管理 ・ ロジスティック管理 ・ 生産管理		人件費 ・ 各セクション別 (部・課・プロジェクト)での人件費		業務改善プロジェクト ・ 標準業務内容の整備(BPR)費用 ・ ERPプロジェクト費用 ・ 人事評価制度の整備(業績連動報酬)		改善費用
業績 = 収入 - 支出 (黒字化目標)							

ベンチャーとしての企業理念をコアとした事業構造改革の実施

事業収益を見据えた事業計画書の作成

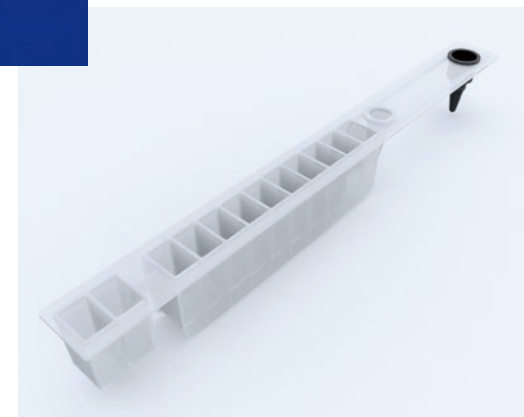
2. 試薬製造(開発)企業との提携 機器、試薬の融合協業体制の構築

協議内容

A社 スペイン	リオフィライズ試薬、有効期間2ヵ年、常温保存薬
B社 ベルギー	高感度液体PCR試薬
C社 フランス	臨床検査センター対応
D社 中国(香港)	NAT検査

●
●
●

ホームブリュー試薬への対応も可能

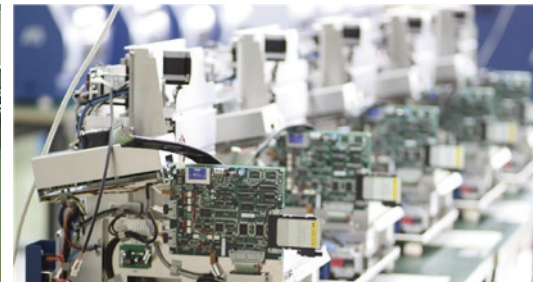


3.低コスト生産ラインの拡充

- ✓ 機器・試薬製造企業との連携強化
- ✓ NPS (大館工場)のフル操業対応



高い生産効率、低コスト化を実現



2020年初頭 事業エポック説明

1. COVID-19 対策の立案、実施

2. 新分野への応用開発

3. ERPによる社内業務改善プロジェクトスタート

1. COVID-19 対策の立案、実施 ウイルスアウトブレイク対策連携案



1. COVID-19 対策の立案、実施

geneLEAD System によるサンプル処理自動化コンセプト

一般的な検査システムフロー



オペレーターにより用手法でIDスキャン

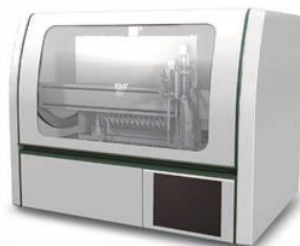


もしくはラック毎に機器内での自動バーコードスキャン

DNA/RNA抽出からリアルタイムPCR測定全行程処理自動化システム

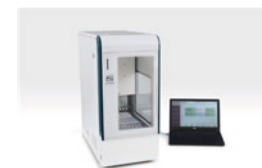
geneLEADXII plus <PSS標準機器>

- ◆OEM契約による販売を中心として既に**数百台**の出荷実績あり
- ◆検体、液体PCR試薬の全自動分注
- ◆処理能力12サンプル／1バッチ同時処理が可能
- ◆2時間／Test
- ◆12サンプル×4Run=**48サンプル**／日

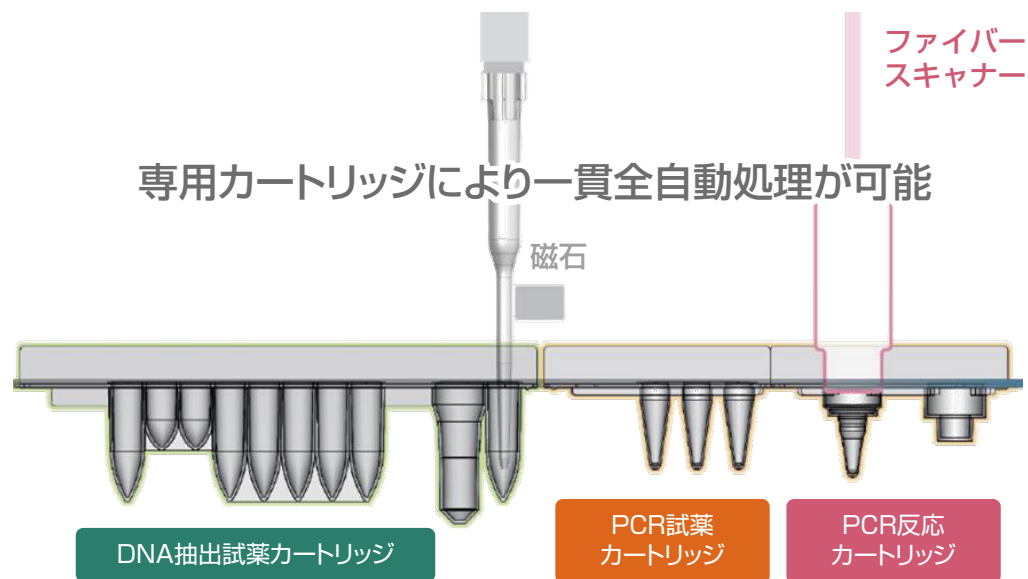


geneLEADVII <小規模施設対応機器>

- ◆ 小型シンプル機器
- ◆ パソコン1台でgeneLEADVIIを1～6台一括管理が可能
- ◆ 処理能力8サンプル／1バッチ同時処理が可能
- ◆ 2時間／Test
- ◆ 1台の場合8サンプル×4Run=**32サンプル**／日
- ◆ 3台の場合8サンプル×4Run×3台=**96サンプル**／日
- ◆ 6台の場合8サンプル×4Run×6台=**192サンプル**／日

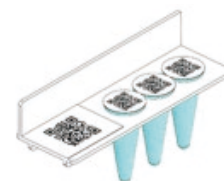


1. COVID-19 対策の立案、実施 geneLEAD 専用カートリッジ



現状のDNA抽出試薬
プレフィルドカートリッジ
magDEA Dx SV/ MV

近将来の構想 ～PCR試薬リオフィライズ化～



現状からのスペックアップ

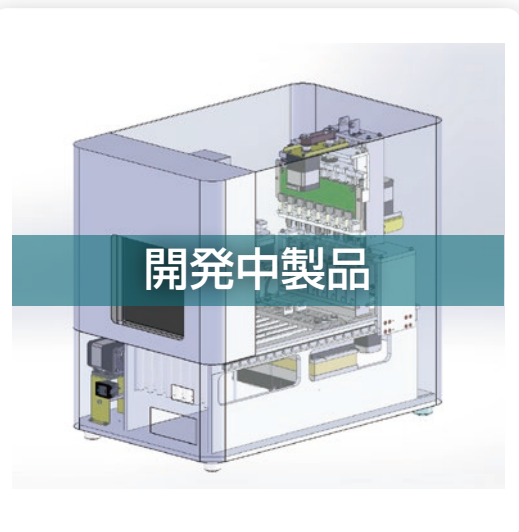
- ◆ -20℃冷凍保管⇒ 室内常温保管
- ◆ 使用期限半年～1か年⇒ 使用期限2か年

World Wideに各試薬メーカーと提携し、
geneLEAD用カートリッジ試薬Kitの製品化
を進めている



新型コロナウイルス（COVID-19）
については研究機関作製の試薬を
封入したカートリッジを早急に完成
させる

2. 新分野への応用開発



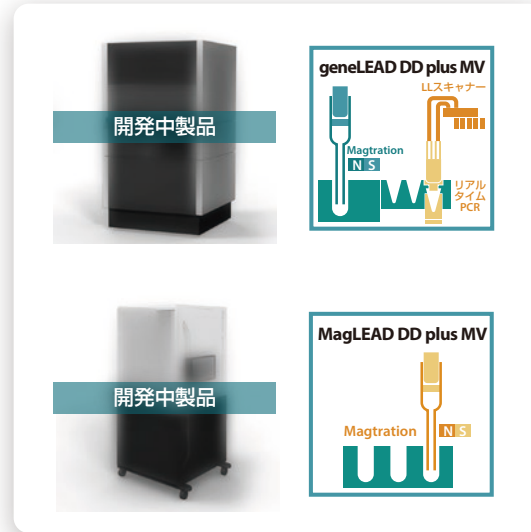
アルツハイマー、糖鎖による
早期診断マーカー

一体化装置(α バージョン)
LuBEA-GT 8



免疫細胞治療の細胞処理自動化
(Magtration II Technology)

Afelex-one



PSSの既存製品の改良
第2バージョンを生産

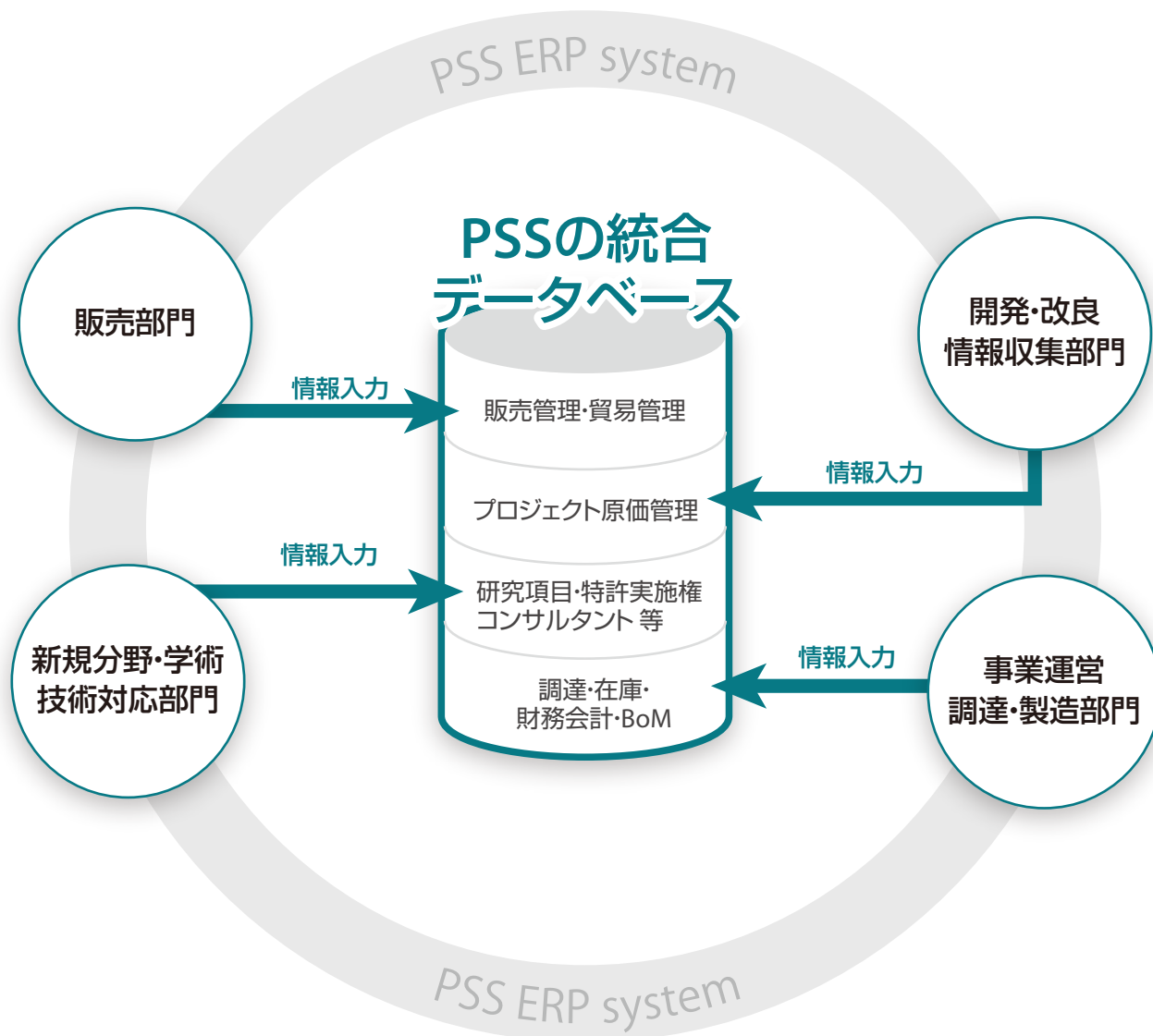
geneLEAD DD plus MV
MagLEAD DD plus MV

3.ERPによる社内業務改善プロジェクトスタート

段階的導入を検討中

対象拠点:

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社 本社(PSS)
エヌピーエス株式会社(NPS/ORC)
ユニバーサル・バイオ・リサーチ(UBR)

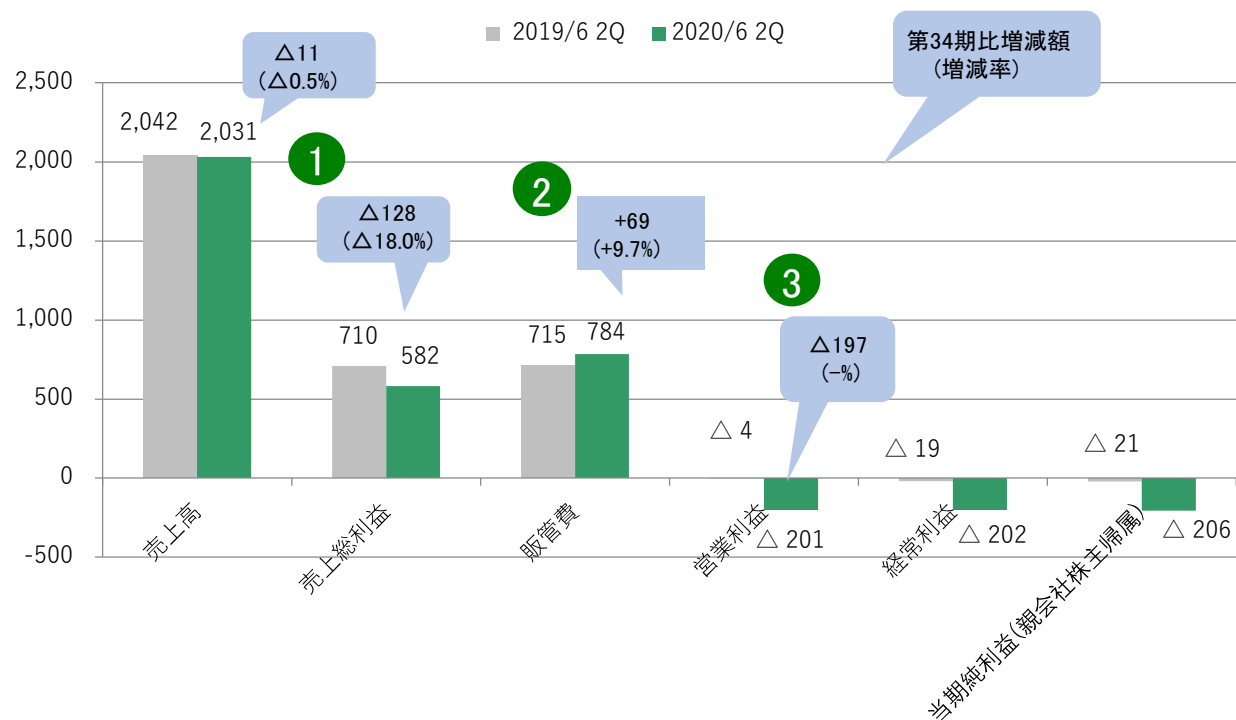


2020年6月期 第2四半期決算説明会

2020年2月27日
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

第35期(2020/6)第2四半期連結業績

- 連結業績の赤字幅は対前年同期比は増加したものの、第3四半期以降の業績改善が期待されています。

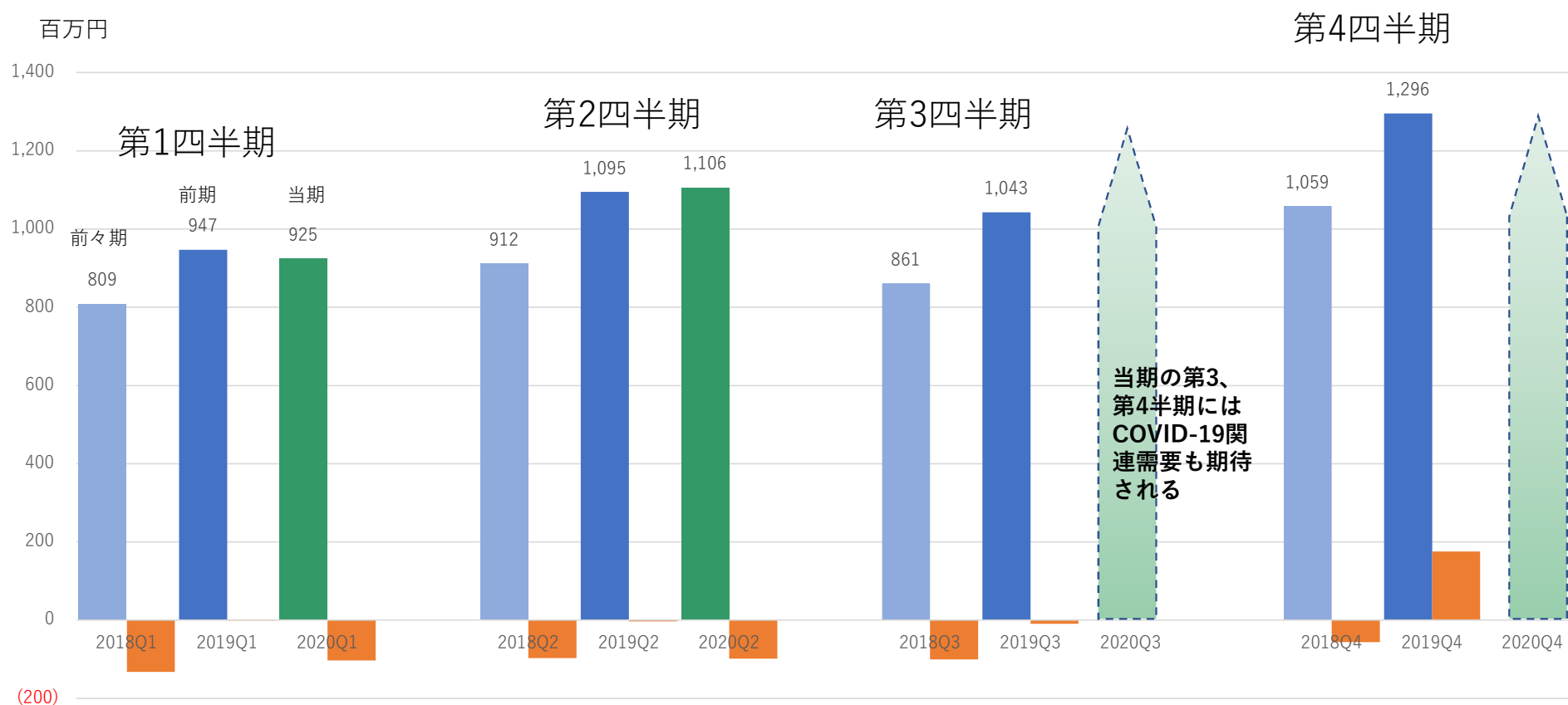


◆ 第34期(2019/6)第2四半期業績比

- ✓ほぼ前期比売上げと減益について
エリテック社向けOEM製品である全自動遺伝子診断装置の販売については順調に推移しましたが、期初より見込んでいた装置販売や受託製造売上が計上できずに出荷が下期にずれたこと等によるものです。
- ✓販管費の増加について
研究開発費は短期間の製品応用開発費用もあり232百万円(前年同期比9.4%増)と増加しました。そして、試薬量産コストダウンの設備投資により減価償却費が増加したこと等も加わったものです。
- ✓赤字幅の増加について
販売管理費はほぼ予算通り推移したものの、上記売上げと減益の要因により、対前期比で業績赤字幅が増加しました。

過去3か年の四半期業績比較

PSSの営業実績は季節的変動が大きいため、四半期ごとの各年比較が、進捗把握に有効である。

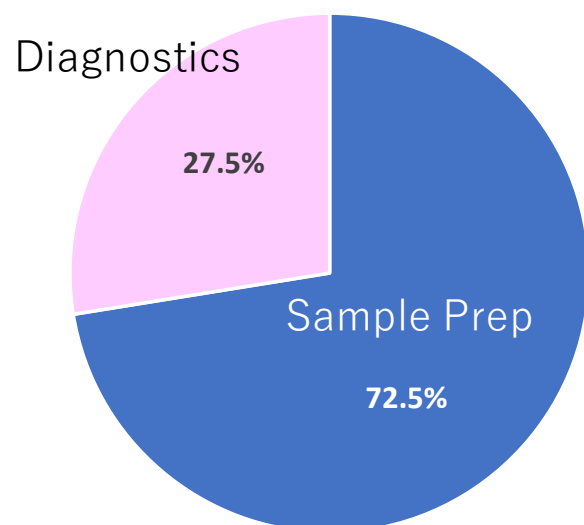


装置販売に見る顕著な変化

過去5年間の装置販売において、臨床診断分野が、大きく拡大。当期上半期においては、診断と前処理販売額が拮抗している。

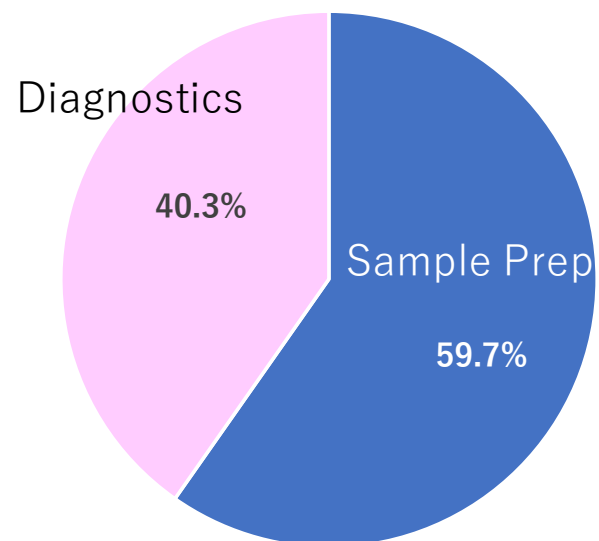
2014/6月期

装置販売額：23億20百万円

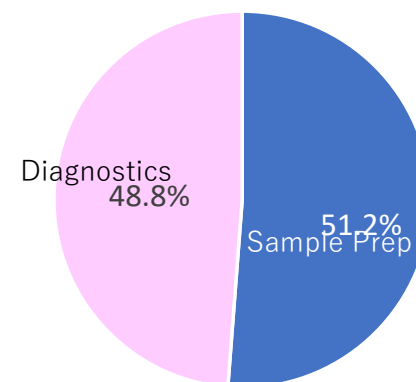


2019/6期

装置販売額：26億95百万円



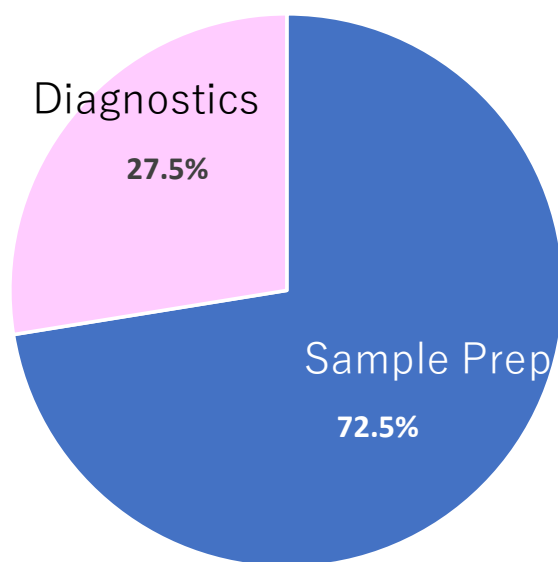
2019年12月(2019/7-12月)



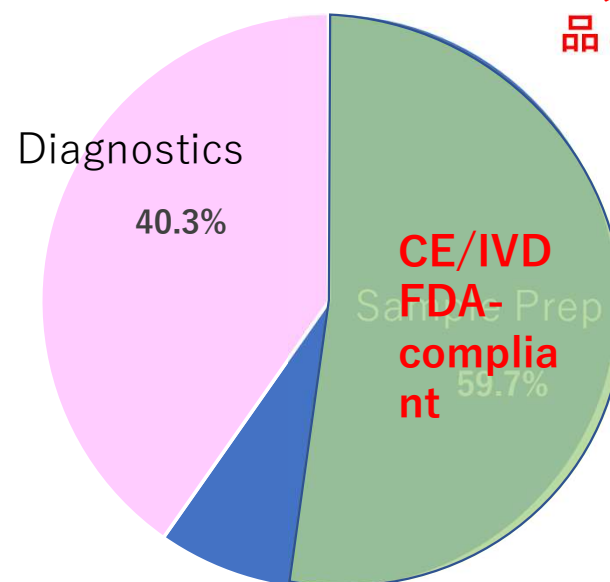
装置販売に見る顕著な変化

過去5年間の装置販売において、臨床診断分野が、大きく拡大。当期上半期においては、診断と前処理販売額が拮抗している。

2014/6月期

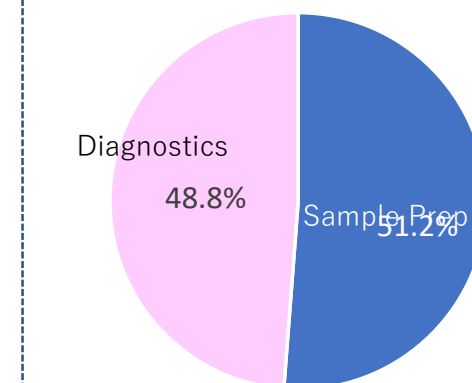


2019/6期



また、前処理分野であっても、その大半が、CE/IVD、FDA準拠製品となっている。

2019年12月(2019/7-12月)



本日は、PSSの事業説明の機会を頂きまして、誠に、ありがとうございます。
今後とも、ご理解、ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、本資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予測に関する記述を含んでおります。これらは、本資料作成時において、入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

2020年2月27日
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
URL： www.pss.co.jp

（お問い合わせは、IR・社長室まで）
電話： 047-303-4800
メール： ir@pss.co.jp